

<アイデアのねらい>

題材の導入で鑑賞に関する資質・能力を活用・発揮しながら、和菓子のアートカードゲームを行うことで、四季折々のイメージがどのように取り入れられているかを考えたり、季節感を表した作品の調和のとれた洗練された美しさを感じ取ったりする。

和菓子のアートカードを活用した鑑賞で学習したことが表現の学習に生かされるように関連付けることで、発想や構想に関する資質・能力を高める。

<授業の展開例>

○和菓子のアートカードゲームを行う。



○和菓子のデザインを考える。



○粘土で和菓子を制作する。

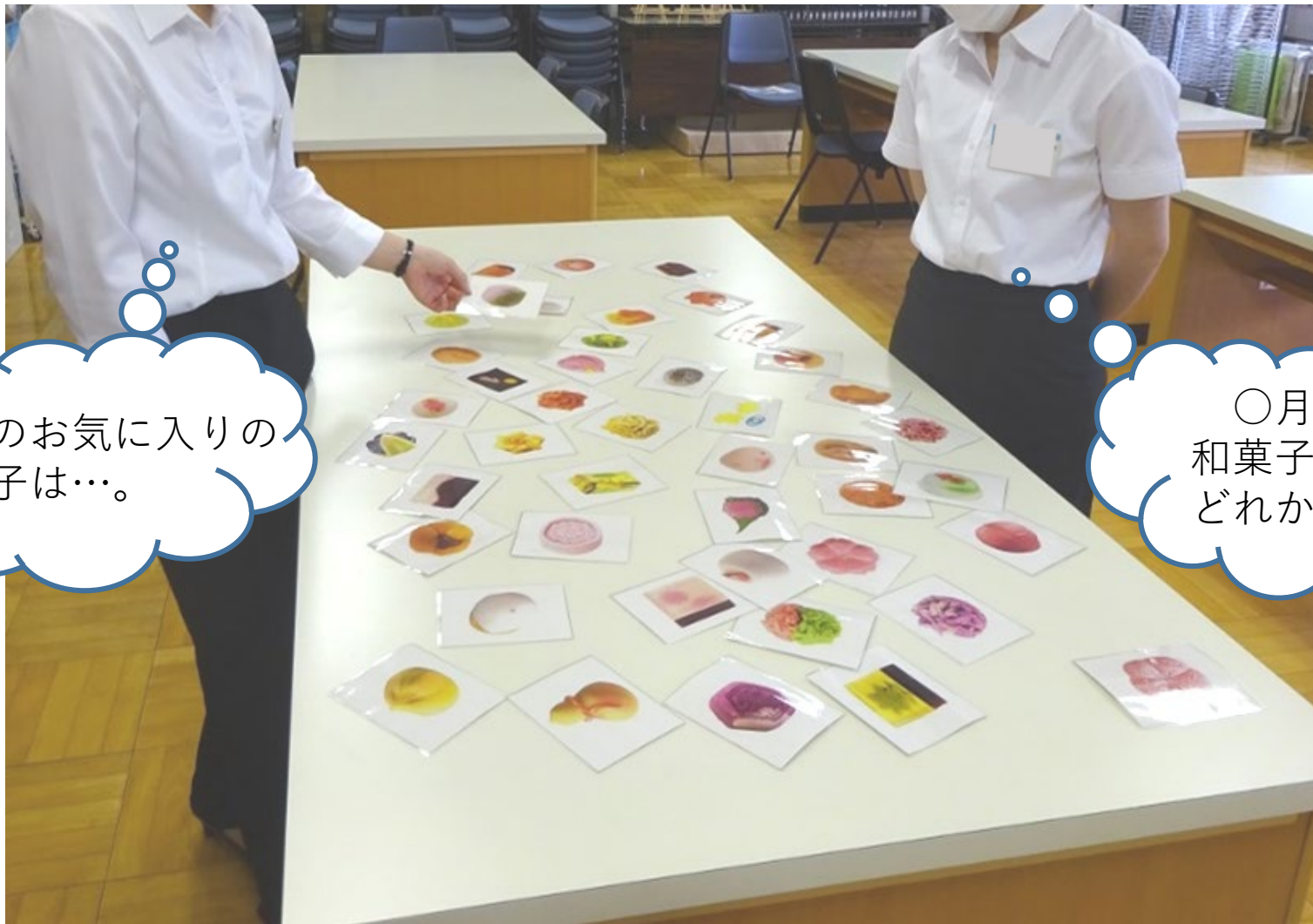


○友達と完成した作品を見合う。



発想や構想に関する資質・能力を育成

<講座の様子>



私のお気に入りの和菓子は…。

○月の和菓子はどれかな…。

＜講座の様子＞



～受講者作品～

<留意点>

導入では、季節のイメージがどのように和菓子に取り入れられているか考えることができるように、形や色を基にした鑑賞をしましょう。

アイディアスケッチでつまずいている生徒に和菓子アートカードを提示して、主題を見つけ出せるようにしましょう。



終末で、和菓子の名前や解説を記入する前に、イメージを広げるため、和菓子アートカードの作品に名前を付けて解説する場を設定しましょう。

<受講者の感想>

- ・ 3学期に和菓子の作品づくりを予定しているので、実践してみたい。
- ・ アートカードゲームの内容を題材の進め方に合わせていくと、その都度生徒に考えさせたいことが明確になっていいと思った。

鑑賞の学習で学んだことを生かし、季節や地域の自然などのイメージを色や形で表すことで、身に付いた資質・能力が実感できます。

